

# 障害のある人となない人が共に取り組む地域づくりプロジェクト ～ひろばポラリス&屋台ポラリス～

2022.07～



助成: あすなろ福祉財団  
サントリー東北さんさんプロジェクト

## (概 要)

障害のある人と地域の人とが「屋台ポラリス(動くコミュニティ)」と、「ひろばポラリス(調理室&フリースペース)」で、地域の様々な人たちが集う場づくりを協同実践し、そのプロセスの中で試行錯誤や失敗も経験しながらの成功体験も通して生きる力を育み、東日本大震災で過疎が進んでいる宮城県山元町で地域活動の担い手育成と、人を育てることでの持続可能な地域づくりにつなげていく。

# (背 景)

当団体で活動している障害のある人達は、様々な特性による生きづらさを抱えて就労訓練に取り組んでいる。彼らは、地域で支えてもらうだけでなく、支える立場になる経験が、自己肯定感や自己有用感を向上するために最も重要と実感する。また、東日本大震災で被災してから11年が経つ宮城県山元町は、少子高齢化と過疎化により地域活動の担い手が不足している。震災後に「障害のある人もない人も共に素敵に生きはたらけるように」と、NPOを立ち上げた当団体としては、障害のある人が地域活動の担い手となれるよう、新たな地域コミュニティ創造のための協同実践する機会をつくりたいと考える。本プロジェクトでは、障害のある人たちが、当団体が新たに取り組む「屋台ポラリス」と「ひろばポラリス」の活動で自分の得意なことを活かして活動し、試行錯誤しながらも、その経験を経て生きる力を育み、地域の担い手になる日を目指すことを応援したい。またその中で、障害者だけでなく、子供や高齢者、生活困窮者と、そういった制度の狭間で更に生きづらさを抱えている人たちを含めた世代や属性の異なる様々な方たちが互いに支え合うことができる場所、機会を提供して、人も地域も持続可能な希望のある未来につなげたい。

## (活動の目的)

■当団体が新たに取り組む「屋台ポラリス」と「ひろばポラリス」で、子供、障害者、高齢者、生活困窮者と、そういった制度やサービスの狭間にいる人も含めた地域の全ての人が支え合う居場所や参加支援の場・機会をつくり地域共生社会づくりを進める。

■地域でマイノリティな立場にある障害のある人や様々な社会的要因で生きづらさを抱えている人が、「屋台ポラリス」と「ひろばポラリス」の運営を協同実践し、地域の中で役割を持って活動する経験を積みながら生きる力を育み地域の担い手になっていくことにつなげる。

## (目指すこと)

＊障害者が地域の中で様々な人たちとふれあい、活動する経験をし、生きる力を取り戻す。

＊地域の全ての人困り事を相談できる場、機会を提供する。

＊世代や属性を超えて、これまでつながる機会がなかった様々な立場の人がつながる場・機会となる。

＊地域共生社会を目指し、全ての人のはたらく・たのしむ・まなぶ機会・場をつくるプラットフォームを整備する。

# 「屋台ポラリス」について

2020年日本フィランソロピー協会が企画した「チャリティムービープロジェクト」で全国の中高生が当団体の活動を紹介する動画を制作し寄付を集める応援をしてくれた。集まった寄付金(674,804円)を活用し、地域に「動くコミュニティ」を作るために「屋台ポラリス」を制作しました。

※2021年2月に東日本大震災の余震と言われる「福島県沖を震源とする地震」が発生したため、当団体拠点の建物の改修・耐震強化が必要となり、屋台ポラリス制作は1年遅れてしまった。その後、当団体が企画し、設計・製作については(株)佐善工務店の応援をもらって、2022年3月に完成しました。



屋台での活動イメージ



佐善工務店の工場で制作



屋台がポラリスに到着！



# 「ひろばポラリス」について

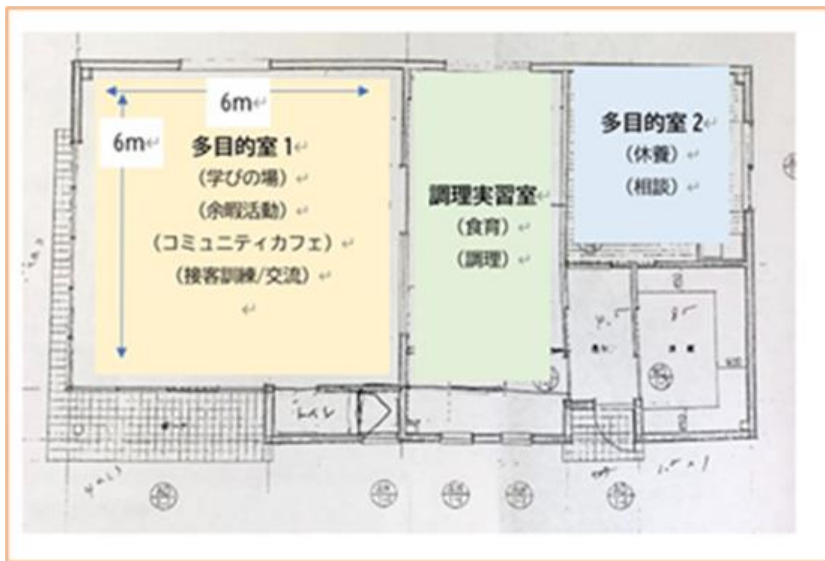
2022年3月16日、1年前を上回る規模の大地震(震度6弱)の地震が発生しました。現在も余震が続いています。

福祉サービス事業所は、国から災害時や感染症拡大などの際にも障害者支援の業務継続を可能にする(BCP)ことが求められていること、更に、当団体の拠点となっている建物は福祉サービス事業の認可に必要最低限の広さであるため、コロナ禍で活動する際に感染症予防はとても重要であることから、利用する人たちが密集を避け活動できる場所を新たに確保することが必要と考えていました。

タイムリーに、当団体隣の建物(調剤薬局)が空き店舗になりお借りできることになりました。国道6号線沿いであり、町のちょうど中間に位置するこの建物を「ひろばポラリス」と名付け、障害者の活動(活躍)の場、町の人を対象とした地域づくり、参加支援の場として役割を果たし、様々な実践を進めながら、ゆくゆくは町の重層的支援体制整備のための一部を担う場・機会を整備できればと考えています。



(左)ひろばポラリス (右)ポラリス



ひろばポラリスの3つのスペースを改修しました。



看板ができました。

# 【協同実践の方法】

世代や分野を超えて地域の多様な主体が参画し、「支え手」「受け手」という関係を超え、更に制度・分野ごとの縦割りを超え、地域づくりに取り組みます。



読書会（ひろばポラリス）



対話と学び（屋台ポラリス）



ひろばポラリス 第1弾  
2022.08.17~10.10

## ポラリスのアーティスト シートン大友さんの 「百獣画録」展

ポラリスメンバーであり、  
「癒しの動物アーティスト」として、  
動物に関する研究や制作活動を持  
つながら、県内各地で個展開催や、  
子どもから大人までを対象にした  
癒しの講演活動を行っている大友  
さんとのコラボで、個展「百獣画録  
展」を開催。

アートイベント

ひろばポラリス オープン記念

百獣画録

ヒャクジュウ ガロック

HYAKUJU GAROCK 2022

癒しの動物アーティスト シートン 大友

日時  
8/17 (水) ~ 10/10 (月: スポーツの日)  
10:00~15:00 (水曜日・日曜日は休み)

会場  
ひろばポラリス  
山元町高瀬字合戦原 72-35 TEL:0223-36-7410

作者とのイベント

|                         |                                        |
|-------------------------|----------------------------------------|
| 8/23 (火)<br>13:00~14:30 | 作者による展示内容の解説<br>☆観覧障害をもつ子供向けに制作した絵本の紹介 |
| 9/6 (火)<br>13:00~14:30  | 動物のおはなし ①ペルーの動物                        |
| 9/20 (火)<br>13:00~14:30 | 動物のおはなし ②神社の聖なる動物                      |

協力: 株式会社メモリアルアイ  
助成: 「サントリー東北サンさんプロジェクト みらいチャレンジプログラム」  
NPO法人ポラリス「障害のある人となない人が共に取り組む地域づくりプロジェクト」  
「ひろばポラリス」 & 「舞台ポラリス」を活用したワークショップその1

